

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	参画と協働の仕組みの検討			総合計画コード	641
部名	市長公室	主管課名	政策企画課	主管課部課コード	010100
関連部課名	市民環境部(地域づくり支援課)				

1. 施策概要

めざす目的成果	市民が市政へ参画するための条件が整備されることで、協働によるまちづくりを推進するための、市民と行政の対等な関係が築かれている。				
施策概要	市民と市が協働して朝霞の自治を考えていくとともに、市民参画と協働の基本ルールの一つとして、朝霞における自治基本条例の制定について検討する。また、本市における新たな参画と協働の仕組みについて検討する。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市市民協働指針	計画期間	H 20 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<p>まちづくりへの関心と参画への機運醸成を目的として、市民が主役のまちづくり推進講座(全5回)を開催した。第1~4回は各分野の第一人者を招き講義形式で、第5回は参加者で意見を出し合うワークショップ形式で開催した。</p> <p>平成27年度に自治基本条例を考える市民の会から提出のあった「朝霞市における自治基本条例制定の必要性に関する提案」を受け三鷹市等の先進市における自治基本条例制定までの流れについて調査し、本市で自治基本条例の制定を進めていくにあたっての体制案について検討を進めた。</p> <p>協働をさらに深化させるための仕組みづくりについて、和光市の協働事業提案制度等、他市の既存の制度を中心に、調査を行った。本市で実現するにあたっての各制度の課題を把握した。</p>					
H28年度の 基本概念(コンセプト) の実施内容	安全・安心なまち	市民ワークショップを開催し、検討の一テーマとして、市・市民・事業者等の役割や自助・共助・公助の在り方等、安全・安心なまちについて考える場を提供した。				
	子育てがしやすいまち	今後の地域課題をテーマにまちづくり推進講座第3回を開催し、高齢者が子育てを通して地域活動にかかわる一事例から、子育てがしやすいまちについて学んだ。				
	つながりのある元気なまち	まちづくり推進講座の第2回目は三鷹市市民協働センターの事務局長を招いて開催し、協働の側面からつながりのある元気なまちについて考える機会を設けた。				
	自然・環境に恵まれたまち	市民ワークショップを通して、市民が朝霞の自然・環境のすばらしさを語り合い、保全の重要性を再確認するなど、自然・環境に恵まれたまちについて意見を交換した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		19,934	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 参画と協働の仕組みづくり (説明) 本市における新たな参画と協働の 仕組みについて検討する。	—	調査・研究	研究・検討	検討	仕組み構築	周知・推進
		調査・研究	—	—	—	—
② (説明)	—					
			—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 市民参画に関する条例の制定等に対する気運が高まるよう、自治基本条例も一つのテーマとして含めた市民が主役のまちづくり推進講座(全5回)をした。これまでは参加者やその世代が固定化する状況にあったが、大学や、若い世代が所属する市内団体への周知に力を入れた結果、第5回に開催した市民ワークショップでは、新たな参加者や若い世代の参加につなげることができた。 市民活動ガイドブックの更新・発行や市民活動啓発パネル展を開催し、様々な団体の活動情報を幅広く発信したほか、団体との協働事業を実施した。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 市民、議会、行政が朝霞市に求められるまちづくりの理念を共有していくためには、市が関与し、その推進役を担う必要がある。特定の団体からの提言だけに限定せず、他の市民団体も含めて幅広く市民の意見を求めるとともに、議会も交えながら、市民参画の仕組みづくりの必要性を検討する段階に入っている。 NPOなど市民活動への関心は高まってきており、参加するきっかけづくりや様々な情報の提供が必要である。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 自治のあり方に関する条例等は、本市の課題や多様なニーズについて市民が率直な意見を交わしていただくプロセスが重要であり、より多くの市民や議会を巻き込み取り組んでいくことが求められる。今後は条例が実際に制定されるまでの期間も、継続してこれからの朝霞の自治を一体となって考えていく気運を保ち、さらに多くの市民を巻き込んでいく必要がある。 公共的サービスの担い手として期待されている、NPO法人等との協働事業の推進や、自主的な活動ができるような支援が必要である。

4. 今後の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
	(説明) 今後も、自治基本条例の制定に向けた活動を中心に取り組む。特定の市民活動団体に限らず、幅広く市民や団体を巻き込むための取組を引き続き進めていく。 NPO法人等との協働事業の推進や、自主的な活動ができるような支援について検討する。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
	(説明) 地区別や年代別等のワークショップ等を開催し、まちづくりに対する参加者の関心を高め、自治基本条例に関する参加者の知識を深めるとともに、より多くの市民が参加し意見を交わせる場を提供する。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
	1 市民参画推進事業	3,897	5,153	5	5	拡大
	2 市民活動支援ステーション運営事業	—	—	5	5	現状のまま
	3					
	4					
	5					
	計(単位:千円)	3,897	5,153	—	—	—
	<input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【外部評価委員会】 ・少子高齢化や人口減少などの環境変化により、市民の意識や価値観も多様化しており、家庭の構成や生活形態に変化が生じている。多様なライフスタイルに応じた、地域に対する新たな行政対応を進めることが望まれる。(将来像の基本概念全体に関する所見より抜粋)					
部長の意見	市としては条例制定に向けた審議会等の設置のためには、関心の高い団体等の思いが幅広い市民の輪に広がる必要があると判断し、平成29年度は多くの市民や団体を巻き込む効果的なワークショップの開催を検討していく。合わせて、平成30年度以降に向けた動きも摸索していく。					